

6 調査結果の特徴

平成 24 年 3 月に策定されたスポーツ基本計画は、スポーツ基本法の理念を具現化し、今後の我が国のスポーツ政策の具体的な方向性を示すものとして、国、地方公共団体及びスポーツ団体等の関係者が一体となって施策を推進していくための重要な指針として位置づけられるものであり、計画の期間については、10 年程度を見通した計画である。

本年度の調査分析は、昨年度に引き続きスポーツ基本計画の政策目標と関連づけることを念頭に行うこととした。

(1) 青少年（6～19 歳）

スポーツ基本計画

政策目標（抜粋）：

今後 10 年以内に子どもの体力が昭和 60 年頃の水準を上回ることができるよう、今後 5 年間、体力の向上傾向が維持され、確実なものとなることを目標とする。

《調査分析の観点》

新体力テスト施行後の小学生（11 歳）、中学生（13 歳）、高校生（16 歳）の走・跳・投の運動能力については、平成 23 年度調査において、小学生男子の立ち幅跳びを除くすべての項目で横ばいまたは向上傾向がみられることが示された。本年度は平成 10～24 年度の 15 年間のデータの推移を基に、体力・運動能力が確実に向上傾向にあるのかについて検討を行った。さらに、昭和 60 年頃の水準との比較を行った。

① 青少年の体力・運動能力の年次推移（表 1）

新体力テスト施行後 15 年間の各項目の推移を表 1 に示した。体力の指標である握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳びにおいては、男子の握力を除くすべての項目で、横ばいまたは向上傾向がみられる。

また、運動能力の指標である、走、跳、投にかかる 20m シャトルラン、持久走、50m 走、立ち幅とび、ソフトボール投げ・ハンドボール投げでも、平成 23 年度調査結果と同様に、小学生男子の立ち幅とびを除くすべての項目で、横ばいまたは向上傾向がみられる。

表1 新体力テスト施行後（平成10～24年度）の体力・運動能力の推移

小学生(11歳)	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン		50m走	立ち幅とび	ボール投げ	合計点
男子	低下	向上	横ばい	向上	向上		向上	低下	横ばい	向上
女子	横ばい	向上	向上	向上	向上		向上	横ばい	横ばい	向上

中学生(13歳)	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	合計点
男子	低下	向上	向上	向上	向上	横ばい	向上	横ばい	横ばい	向上
女子	横ばい	向上	向上	向上	向上	向上	向上	向上	向上	向上

高校生(16歳)	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	合計点
男子	低下	向上	向上	向上	向上	横ばい	向上	横ばい	横ばい	向上
女子	横ばい	向上	向上	向上	向上	横ばい	向上	向上	横ばい	向上

※ は昨年度と比較して、傾向判定が異なるところ。

② 青少年の新体力テスト合計点の年次比較（表2）

平成24年度の各年代の合計点を平成10～24年度（15年間）で比較すると、女子では、小学生（11歳）で第1位，男子の小学生（11歳），高校生（16歳），女子の中学生（13歳）で第2位，男子の中学生（13歳），女子の高校生（16歳）で第3位と，全ての年代で上位の合計点を示している。

表2 新体力テスト合計点の平成10～24年度における順位

男子		H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
11歳	合計点	59.19	59.78	60.44	59.89	60.64	60.90	61.03	60.61	60.88	60.90	61.29	61.27	62.30	61.01	61.88
	順位	15	14	12	13	10	7	5	11	9	7	3	4	1	6	2
13歳	合計点	38.87	39.99	40.77	41.73	41.98	42.89	42.91	43.20	43.59	42.94	43.00	42.89	44.11	44.57	43.86
	順位	15	14	13	12	11	9	8	5	4	7	6	9	2	1	3
16歳	合計点	48.00	49.80	51.83	52.23	53.07	53.43	53.55	53.43	53.82	54.01	54.04	54.21	54.89	54.41	54.78
	順位	15	14	13	12	11	9	8	9	7	6	5	4	1	3	2

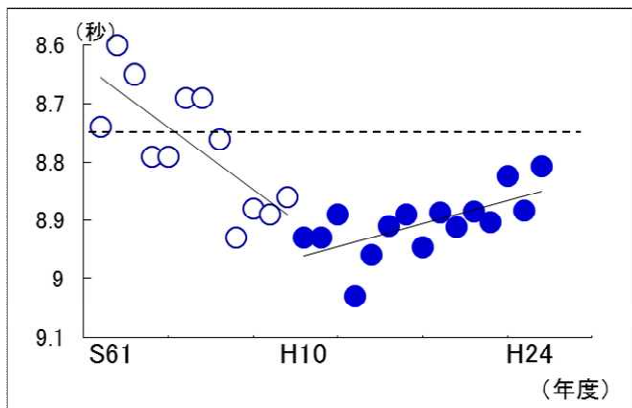
女子		H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
11歳	合計点	58.56	58.58	58.59	59.47	59.65	59.86	60.14	61.13	60.48	61.07	61.37	61.16	61.55	61.59	62.00
	順位	15	14	13	12	11	10	9	6	8	7	4	5	3	2	1
13歳	合計点	45.26	45.19	45.44	46.39	47.17	49.06	49.43	48.83	49.23	49.44	49.62	49.58	50.40	51.39	50.58
	順位	14	15	13	12	11	9	7	10	8	6	4	5	3	1	2
16歳	合計点	46.29	46.60	46.49	46.76	47.53	48.44	48.15	48.60	49.57	50.42	50.46	50.89	51.82	50.69	50.70
	順位	15	13	14	12	11	9	10	8	7	6	5	2	1	4	3

※ 記録（点）の数値は小数点以下第3位を四捨五入して表記してある。

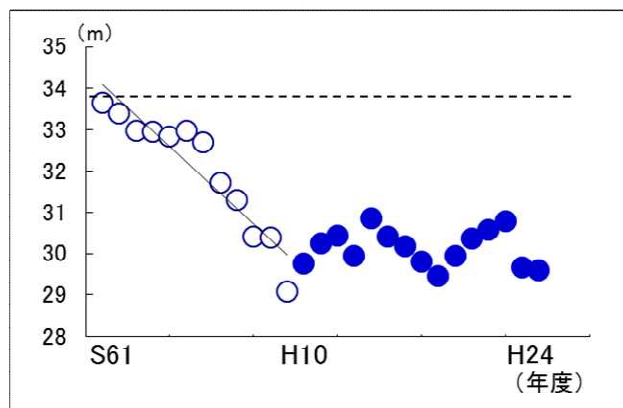
③ 長期的に見た運動能力の推移（図5-1～3）

体力水準が高かった昭和60年頃と比較すると、中学生男子の50m走、ハンドボール投げ及び高校生男子の50m走を除き、依然低い水準になっている。

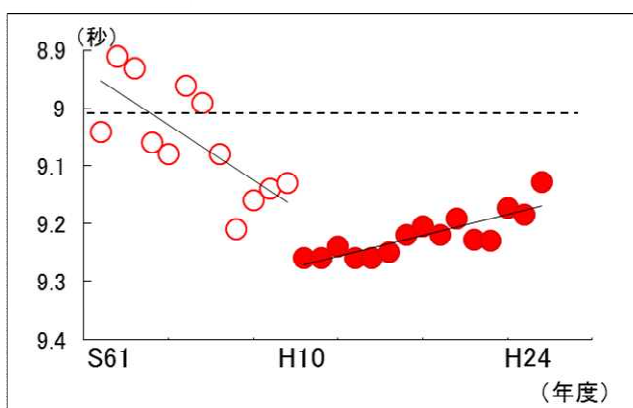
50m走（男子）



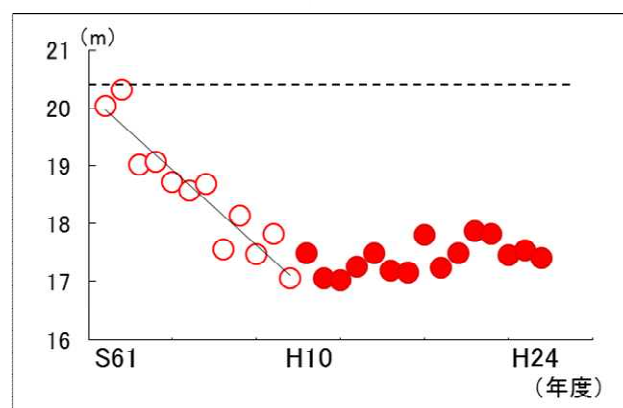
ソフトボール投げ（男子）



50m走（女子）

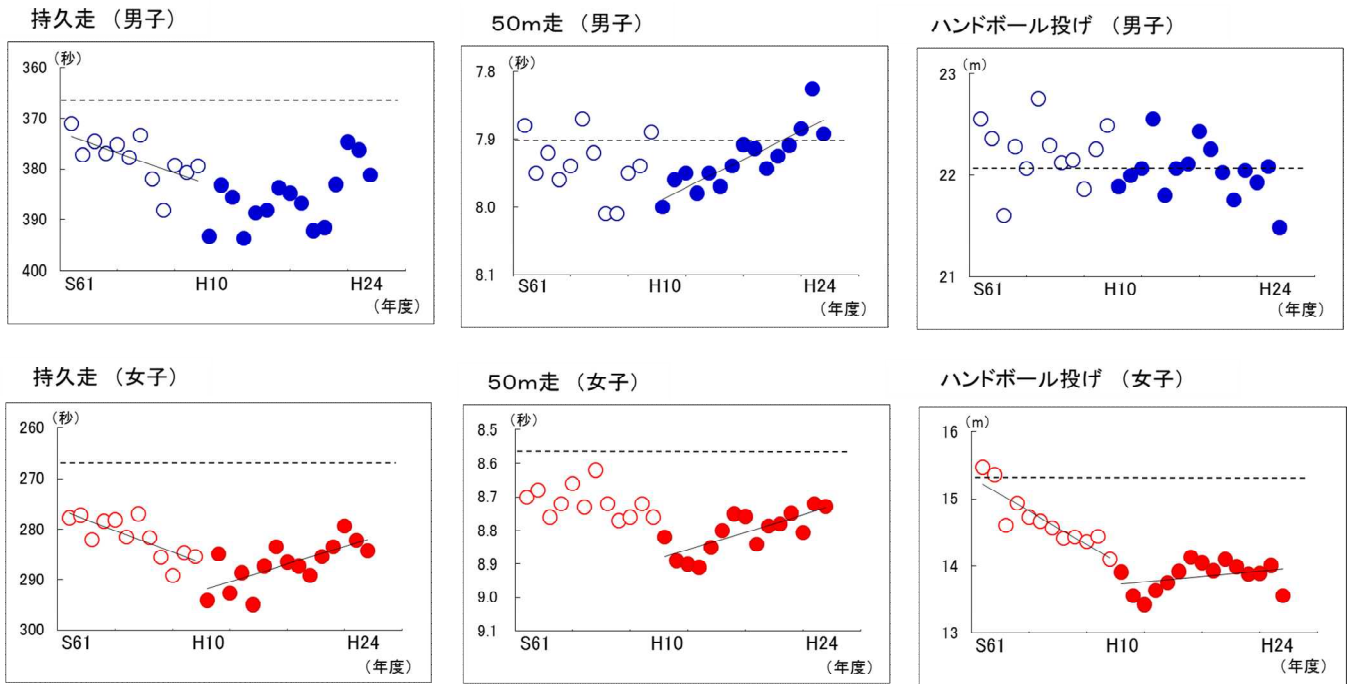


ソフトボール投げ（女子）



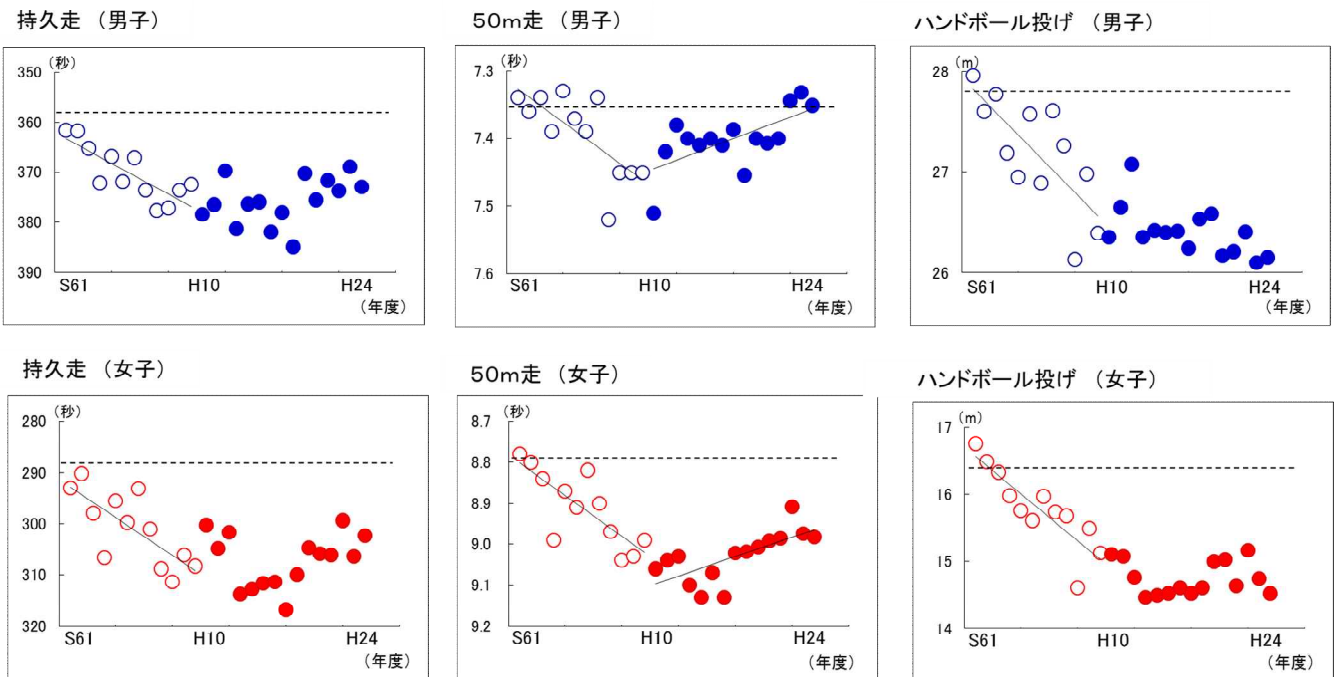
- ※ 1. 上に示した図は、昭和60年度（図中の点線）から平成24年度までの体力テスト結果の年次推移を示している。
2. 直線が引かれている部分は、新体力テスト施行前後での変化の傾向を示しており、低下または向上の一定の傾向が確認されたことを示している。

図5-1 長期的（昭和60～平成24年度）に見た運動能力の推移 小学生（11歳）



- ※ 1. 上に示した図は、昭和60年度（図中の点線）から平成24年度までの体力テスト結果の年次推移を示している。
 2. 直線が引かれている部分は、新体力テスト施行前後での変化の傾向を示しており、低下または向上の一定の傾向が確認されたことを示している。

図5-2 長期的（昭和60～平成24年度）に見た運動能力の推移 中学生（13歳）



- ※ 1. 上に示した図は、昭和60年度（図中の点線）から平成24年度までの体力テスト結果の年次推移を示している。
 2. 直線が引かれている部分は、新体力テスト施行前後での変化の傾向を示しており、低下または向上の一定の傾向が確認されたことを示している。

図5-3 長期的（昭和60～平成24年度）に見た運動能力の推移 高校生（16歳）